

平成13年11月29日

マリ・アルカティリ東チモール行政府
首席閣僚兼経済・開発担当閣僚一行の訪日について

1. マリ・アルカティリ東チモール行政府首席閣僚兼経済・開発担当閣僚は、ジョセ・ラモス・ホルタ同外務・協力担当上級閣僚、フェルナンダ・ボージェス同財務担当閣僚らと共に、12月2日（日）から4日（火）まで来日する。
2. アルカティリ首席閣僚らは、滞在中、わが国政府要人と、独立を控えた今後のわが国と東チモールとの関係、国民和解のあり方等につき協議を行なう予定である。
3. 今回の訪日は、先方より、12月11日からオスロで開催予定の第5回東チモール支援国会合出席の途上での訪日につき強い希望が示されたことを受け、わが国として招待したものである。
また、アルカティリ首席閣僚らは、東チモール行政府発足（9月20日）後、初の要人の訪日である。

（参考）

1. 東チモールでは、国連東チモール暫定行政機構（UNTAET）の下で、独立と国造りのためのプロセスが進展しており、8月30日には憲法制定議会選挙が行われ、その結果を受けて、9月20日に東チモール人閣僚からなる東チモール行政府（ETPA:East Timor Public Administration）が発足した。
2. 今後は、憲法の制定、大統領選挙の実施を経て、5月に独立が予定されている。